

2021 BUSINESS REPORT

アイエーグループ株式会社

<証券コード 7509>



第38期 中間報告書

2020.4.1 ~ 2020.9.30



アイエグループは、「グッドカンパニー」を目指します。

当社は1984年に創業をしました。

1996年9月には現ジャスダック市場に株式を公開しました。

2008年10月には純粋持株会社体制への移行に伴い、商号を株式会社アイエからアイエグループ株式会社に変更いたしました。

当社グループの創業の「志」は、グッドカンパニーを創ることにあります。

当社グループが目指すグッドカンパニーとは、お客様および社会にとって存在価値の高い会社であり、社員にとってやりがいと自分自身の大きな成長が見込める会社であります。

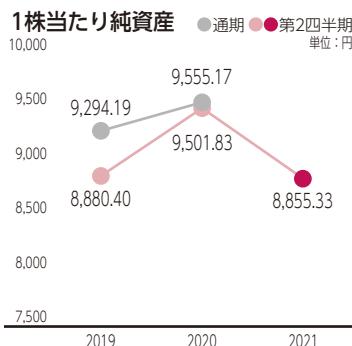
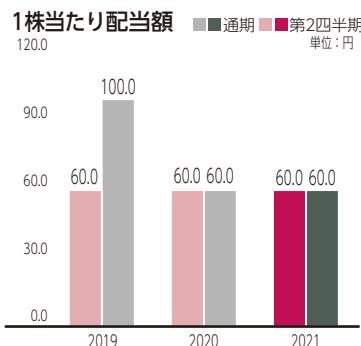
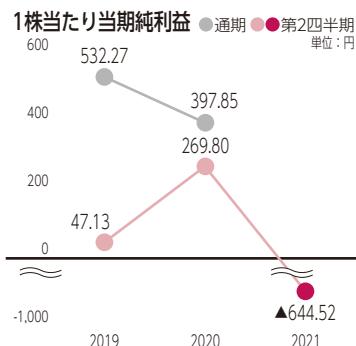
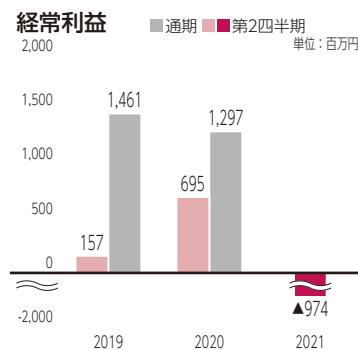
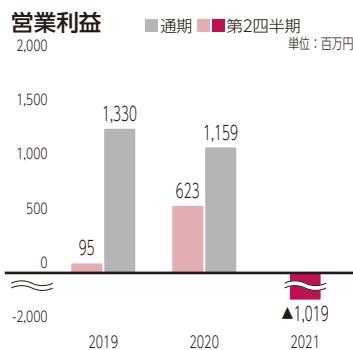
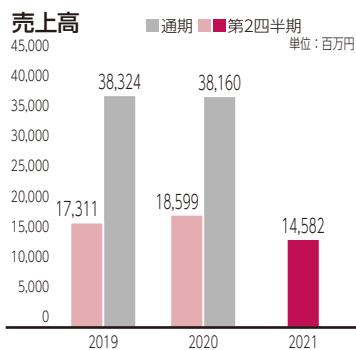
社員各人はさまざまな知恵や新たな発想、そしてチャレンジ精神を持って当社グループに参加することにより、まさに「自己拡大の場」「自己実現の場」としていただきたいと考えます。

会社のために“人”が在るのではなく、“夢を持った人”のために会社が在るというように努めてまいります。

私達は常に、明るく・元気に・楽しく、を合言葉に「志」の達成に向け、会社一丸となって努力してまいります。

企業理念

1. 社員の成長と発展を願い、仕事環境の創出を致します。
2. 社会との関わりを大切にし、豊かな社会作りに貢献致します。
3. 時流変化を正しく認識し、絶えざる革新を行う企業経営に邁進致します。



(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数に基づき、1株当たり純資産は発行済株式総数に基づき算出しております。なお、それぞれ自己株式数を控除した株式数によって算出しております。

2. 2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では、合理的な算定が困難であるため、未定としております。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの新型コロナウイルス感染症の発生により影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

当社は、2020年9月30日をもちまして、第38期の第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大(以下、「感染症の拡大」)の影響により、景気動向は急速に悪化いたしました。特に緊急事態宣言の発出後からは、自治体からの外出および営業自粛の要請に伴う経済活動の停滞により、個人消費が大きく落ち込むことで企業業績も大幅に悪化いたしました。また、緊急事態宣言の解除後は経済活動の再開と感染症の拡大防止の両立を模索する動きが見られますが、再び感染者数が増加傾向に転じるなど感染症の収束が見通せないなか、国内経済の回復に向けた動きは鈍く、その先行きは極めて不透明な状況が続いております。

そのような中、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業およびブライダル事業は減収減益、建設不動産事業は増収増益となりました。

カー用品事業につきましては、緊急事態宣言期間中の来店客数の減少に加え、一定の接客時間を必要とする高単価商材の売れ行きが不振であったこと、また前期はドライブレコーダーの需要および2019年10月からの消費税率引き上げに備えた駆け込み需要といった特殊要因があったことにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

ブライダル事業につきましては、感染症の拡大により、



代表取締役社長
古川 教行

当第2四半期連結累計期間にご予約いただいていた婚礼の相当数が延期となったことで、前年同期と比べ減収減益となりました。

建設不動産事業につきましては、高収益物件の戦略的な売却と、収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めたことにより、前年同期と比べ大幅な増収増益となりました。

その他の事業につきましては、感染症の拡大によるコメダ珈琲店舗の来店客数の減少と、前期末に行ったコメダ珈琲横浜元町店の事業譲渡により、前年同期と比べ減収となりましたが、販売管理費の削減等により増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14,582百万円(前年同期比21.6%減)となり、営業損失につきましては1,019百万円(前年同期は623百万円の利益)、経常損失につきましては974百万円(前年同期は695百万円の利益)となりました。

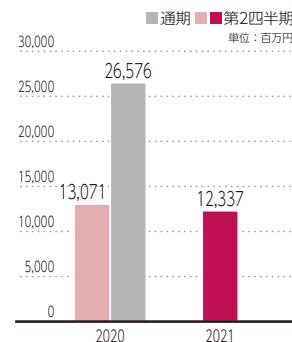
これにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は、960百万円(前年同期は403百万円の利益)となりました。

セグメント情報

カー用品事業



売上高
12,337百万円



事業戦略

- ・社員教育の強化 (国家整備士取得推進、体系的な階層別・職種別研修の実施)
- ・ピットサービス部門の強化 (運輸局指定工場認可の推進)
- ・事業領域の拡大 (タイヤ預かり事業、車両販売事業の推進)

トピックス

車買取・販売の強化



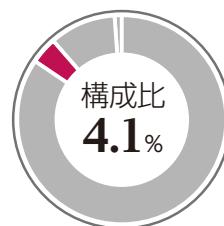
オートバックス多摩境

既存店舗改装

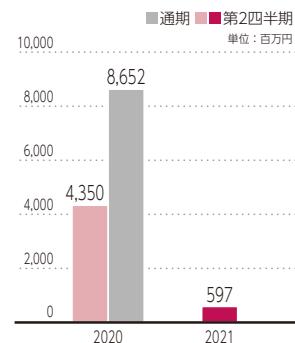


スーパーオートバックス246江田

ブライダル事業



売上高
597百万円



事業戦略

- ・顧客満足の更なる向上（質の向上プロジェクトの推進、社員教育の強化）
- ・施設の鮮度管理（継続的リニューアルの実施）
- ・ブランディング戦略（クチコミ等を通じた知名度の向上）
- ・営業基盤の充実と拡大に向けた体制の強化

トピックス

感染症への対策実施



サーモグラフィーの設置



アクリル板を設置した上での接客

セグメント情報

建設不動産事業



売上高
1,518百万円



事業戦略

- ・所有物件の安定利回り維持による収益の確保
- ・グループ資金を利用した高収益物件の適時購入確保
- ・グループ資産の管理・運営および建築・管理営繕プロデュース

トピックス

2021年中間期 取り組み事例



仙台中山団地 集会場の活用

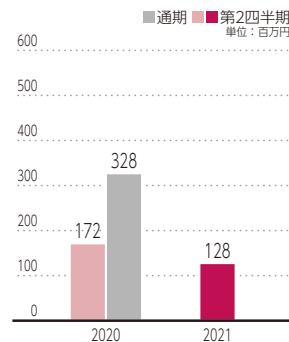
その他事業



総務・経理代行業務 コメダ珈琲の経営

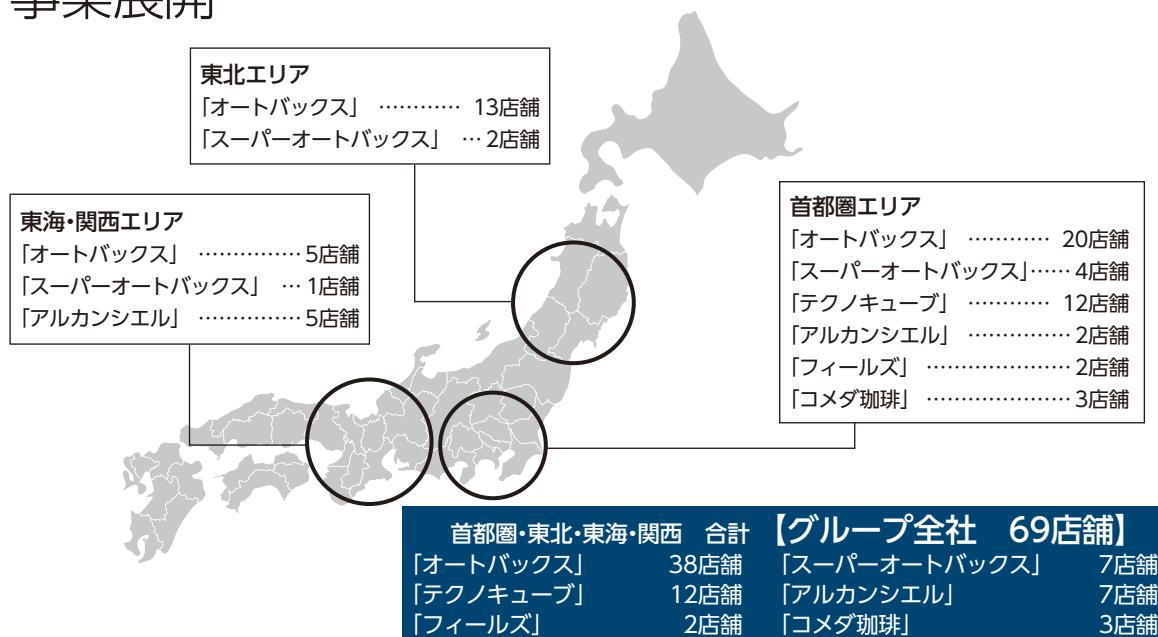


売上高
128百万円



コメダ珈琲店 お客様にコミュニティーの場を提供

事業展開



※2020年3月31日現在

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		
科目	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
流動資産	12,269,611	11,884,171
現金及び預金	1,719,429	1,360,023
売掛金	1,362,740	1,513,342
たな卸資産	8,186,845	8,191,701
その他	1,000,596	819,102
固定資産	19,336,107	19,865,525
有形固定資産	14,085,880	14,725,227
建物及び構築物	6,727,717	7,240,141
土地	6,862,838	6,987,069
リース資産	67,056	87,917
建設仮勘定	—	8,537
その他	428,267	401,561
無形固定資産	79,859	95,427
電話加入権	9,258	9,258
その他	70,601	86,168
投資その他の資産	5,170,368	5,044,871
投資有価証券	94,948	87,079
長期貸付金	20,340	20,640
長期前払費用	136,421	153,615
差入保証金	3,101,315	3,127,965
繰延税金資産	1,685,995	1,525,424
その他	151,686	150,786
貸倒引当金	△20,340	△20,640
資産合計	31,605,719	31,749,696

負債の部		
科目	当第2四半期末 (2020年9月30日現在)	前期末 (2020年3月31日現在)
流動負債	10,080,226	9,852,580
買掛金	1,662,636	1,422,433
短期借入金	5,267,076	5,224,023
リース債務	42,846	54,311
未払法人税等	396,829	303,854
未払消費税等	260,901	368,034
未成工事受入金	13,908	43,810
賞与引当金	436,370	409,525
その他	1,999,657	2,026,587
固定負債	8,231,302	7,537,567
長期借入金	4,923,710	4,272,765
リース債務	62,396	84,752
繰延税金負債	115,791	115,791
長期預り保証金	780,664	788,826
役員退職慰労引当金	613,639	558,800
退職給付に係る負債	563,711	550,553
資産除去債務	1,167,114	1,160,270
その他	4,275	5,808
負債合計	18,311,529	17,390,147
純資産の部		
株主資本	13,217,374	14,267,567
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,610,033	11,660,226
自己株式	△531,550	△531,550
その他の包括利益累計額	△17,119	△24,086
その他有価証券評価差額金	15,553	10,149
退職給付に係る調整累計額	△32,673	△34,236
非支配株主持分	93,935	116,068
純資産合計	13,294,190	14,359,549
負債・純資産合計	31,605,719	31,749,696

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)
	自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日
売上高	14,582,579	18,599,857
売上原価	8,386,123	10,232,114
売上総利益	6,196,455	8,367,743
販売費及び一般管理費	7,215,888	7,744,397
営業利益又は営業損失(△)	△1,019,433	623,346
営業外収益	80,284	106,053
営業外費用	35,507	33,822
経常利益又は経常損失(△)	△974,656	695,577
特別利益	87,106	703
特別損失	4,786	3,637
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△892,335	692,643
法人税、住民税及び事業税	90,550	280,105
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△982,886	412,538
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,132	8,790
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△960,753	403,747

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

会社概況

会社概要 (2020年9月30日現在)

■ 商号	アイエーグループ株式会社
■ 設立	1984年3月21日
■ 資本金	13億1,410万円
■ 商号変更	2008年10月1日
■ 代表者	代表取締役社長 古川 教行
■ 本社	神奈川県横浜市戸塚区品濃町545番地5
■ 事業内容	社内外に対してグループの方向性を明示するとともに、各種の専門サービスをもってグループ各社の事業運営を支援すること。
■ ホームページ	https://www.ia-group.co.jp/
■ 社員数	1,150名(グループ全社)
■ 株式上場取引所	東京証券取引所(銘柄コード7509)
■ 取引銀行	横浜銀行 東戸塚駅前支店 三井住友銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ銀行 戸塚駅前支店 みずほ銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ信託銀行 本店 大垣共立銀行 岐阜支店

主要関係会社 (2020年9月30日現在)

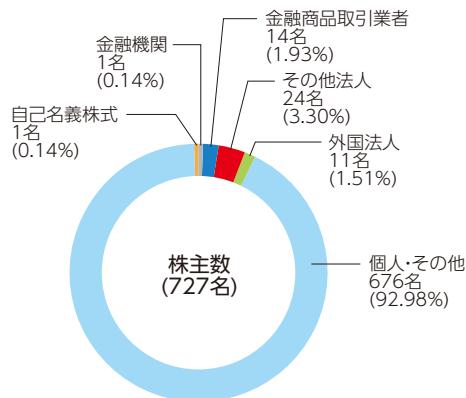
- **株式会社アイエー** <http://www.i-a.co.jp/>
 - ・株式会社アイエーオートボックス
 - カー用品事業
 - 日本最大のカー用品総合専門店チェーン「オートボックス」「スーパーオートボックス」および車検専門店「テクノキューブ」のフランチャイジー店舗の経営
 - ・株式会社アイエーマネージメントサービス
 - 提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング事業
- **株式会社アルカンシエル** <https://www.arcenciel-g.jp/>
 - ・株式会社アルカンシエルガーデン名古屋
 - ブライダル事業
 - ハウスウエディングスタイルの結婚式の経営
 - ・株式会社アルカンシエルプロデュース
 - ブライダル事業に関わるコンサルティング事業
- **株式会社アイディーエム** <http://www.idm-net.jp/>
 - 不動産販売管理事業
 - 総合不動産事業および「フィールズ」店舗による不動産賃貸仲介サービス業務ならびに建設事業
 - ・株式会社アイディーエムパートナーズ
 - 不動産管理業務
 - ・株式会社IDMobile
 - コンテナユニットの設計および企画製造販売業務
- **株式会社IAGアセット** <http://www.iag-asset.jp/>
 - 保有不動産管理事業
 - グループ資産の管理・運営
 - ・株式会社IAGコンストラクション
 - 不動産開発・管理・建設事業
 - ・株式会社エフ・エム・クラフト
 - 保有不動産管理業務

役員 (2020年9月30日現在)

代表取締役社長	古川 教行
取締役副社長	田畑 憲士
専務取締役	小野 敦
常務取締役	岡野 良信
取締役	足立 浩二
取締役	古川 隆太郎
取締役	藤井 敏光
取締役	佐野 尚見
常勤監査役	細矢 公司
監査役	今成 達之
監査役	齊藤 浩司

- (注) 1. 取締役佐野尚見氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役今成達之氏および監査役齊藤浩司氏は、社外監査役であります。
 3. 監査役齊藤浩司氏は、公認会計士の資格を有しております。
 4. 当社は、取締役佐野尚見氏および監査役今成達之氏ならびに齊藤浩司氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式分布状況



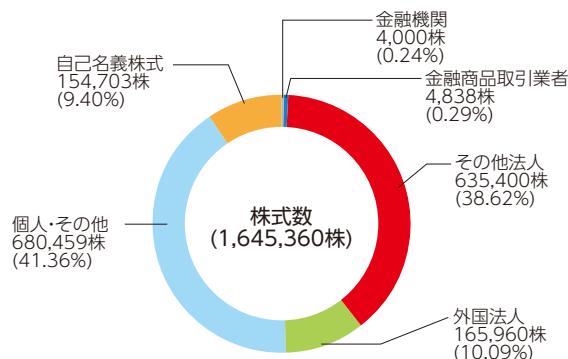
株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行可能株式総数	5,348,800株
発行済株式の総数	1,645,360株
株主数	727名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社草創	580	38.93
ピーイーエイ フォー フィテリイ ロープライズ ストック ファンド	115	7.75
古川教行	48	3.25
古川恵子	48	3.24
内藤征吾	47	3.19
小黒良太郎	46	3.13
田畑憲士	38	2.54
株式会社オートバックスセブン	36	2.41
小黒美樹子	30	2.05
金野茂樹	24	1.65

(注) 持株比率は自己株式(154,703株)を控除して計算しております。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
ご連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載 URL https://www.ia-group.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金の振り込み指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問 合 せ 先	
○特別口座から一般口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先:東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	[手続き書類のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問 合 せ 先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 連絡先:東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先:〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

